

脳業

エコファーム・アサノ

発想力

第13回

安楽死と自立



Thinking Power

俺

も去年で65歳になったから、改めて介護保険の徴収通知がきたけど、冗談じゃねえと思ってる。別に俺が頼んだわけでもねえのに役人の都合で勝手に制度を作りやがって、それで保険料をいただきますって話だろ。本当に年寄りのための制度ならいいけど、利権で甘い汁を吸う奴がいるに決まってるじゃん。こんなもん俺は認めねえぞって今度八街市役所に言いに行こうかと考えてるよ。

だいたいいまの社会ってのは、年寄りには優しく介護するなんて前提で物事を考えるからダメなの。そこでどっかの介護施設に閉じ込めて、みんな面倒見てやるから何もしくなくていいですよっていうでしょ。だけどその状態になったら、もう社会には戻れねえじゃん。一方通行の袋小路で、何も生産せずにただ年金を消費するだけ。そんな毎日が楽しいわけねえじゃんよ。

ひとりの人間として今日一日が楽しかったとか、明日も楽しいことが起きるとか、そういうことがあるから毎日ワクワクするんじゃない。介護を受けることになって医療のおかげでただ生命が続いたとしても、それで社会保障費が膨らんで若い人が苦しんだら共倒れじゃないよ。俺から言わせりゃ年寄りだって自分で生きて

いける能力のない奴はさっさと死にまいったほうがいいのよ。

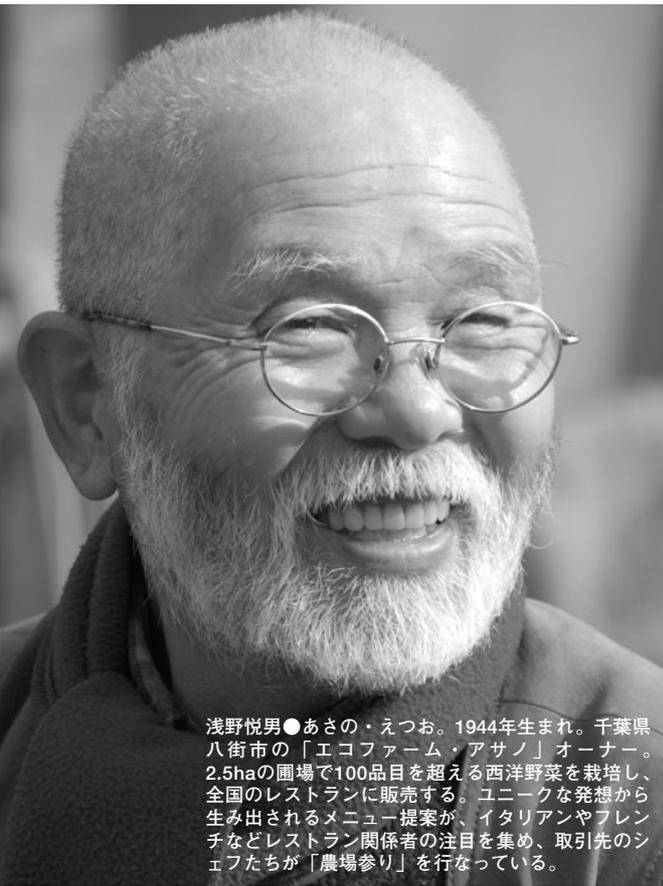
だからなんで日本は早く安楽死法を作らねえのかな。だってそうでなくたっていまの日本は自殺者が増えつたよ。死にてえ奴に死ぬなって言ってもしょうがねえんだもん。だったらハタに迷惑かけねえように楽に死んだらいいじゃん。年寄りが死のうが、病気を持った者が死のうが、それはどうでもいいの。身体障害者だって、以前どっかの市長さんが「助けなくていいものを助けるから社会的な費用負担が重荷になる」って趣旨の発言をしたよな。そのときに反発した人もいるけど、その市長さんの考えだって一理あると思わない？ だって面倒を見てもらってる本人が本当に幸せかっていったら、そうじゃないかもしれねえじゃん。

ただ、本人に「自分は健常者じゃないけど、人のためにこういうことで役立つんだ」って意識があるならそれでいいの。それを社会がちゃんと受け止めればいいんだから。体が動かなくなった年寄りだって、自分が丈夫なときに培ったノウハウとか知恵を若い人たちに話すだけでもいいじゃん。そういう受け皿とか交流の場をいかにつくっていくかが大事なんだよ。

実はうちにも身障者の孫がいる



去る5月18日の『農業経営者』読者の会・定例セミナーは、浅野悦男氏を講師にお迎えました。前半は緊張されていた様子の浅野氏でしたが、後半は得意のユーモアを交えた「脳葉論」を展開。とれたたて野菜の試食も行なわれました（右ページ写真は当日提供された西洋ソラマメのファーベ。日本のソラマメと違ってクセがなく、生のままペコリーノチーズと一緒にいただきました）。浅野氏の饒舌ぶりは講演終了後の懇親会でさらにヒートアップし、独演会状態に。講師の浅野氏をはじめ、お集まりいただいた皆様、ありがとうございました。（編集部）



浅野悦男 ●あさの・えつお。1944年生まれ。千葉県八街市の「エコファーム・アサノ」オーナー。2.5haの圃場で100品目を超える西洋野菜を栽培し、全国のレストランに販売する。ユニークな発想から生み出されるメニュー提案が、イタリアンやフレンチなどレストラン関係者の注目を集め、取引先のシェフたちが「農場参り」を行なっている。

Etsuo Asano's Creative

の。養護施設でいま中学なんだけど、高校くらいまでしか施設の世話にはなれねえ。今後どうすればいいかって話だけど、俺は身障者でも車椅子で野菜を収穫できる仕組みがあればいいんじゃないかねえかって考えてる。身障者の何割かの人たちが労働力になると考えたときに、健常者じゃなくても構わない仕事ってのはあるわけじゃん。座ってできることとか、手が使えさえすればできることはいくらでもある。そういうところで受け皿をつくってやれば、産業構造だって変わってくるじゃんよ。同じような境遇で「野菜作りが好きで、社会に貢献したい」って人がどんどん集まってくれば、身障者の生産団体だってできるかもしれねえじゃん。

子どものときから人の世話になって成長してきたんだから、いつか社会に返さなきゃ。

それでそのとき、身障者が生産した野菜を専門に扱うレストランがあればなおいいじゃん。そのレストランはバリアフリーはもちろん、身障者も食べにすることができるような配慮がされているわけ。社会貢献を目指している人たちがそこで食事を楽しめて、交流もできる。これからはそういう拠点が必要なの。

生老病死ってのは、お天道様と同じように人間にとつてままたらないものじゃん。いまの社会はままたらないものを排除しようとするけど、年寄りだって身障者だって本人の意思さえあればいつでも社会に参加できるようにするべきなの。車椅子のテニスで世界一になった日本人選手がいるけど、ああいう人があらゆる分野で生まれてくるといいよな。そこで農業が果たす役割だってあるはずじゃん。少なくとも年寄りは自分から介護を受けようなんて思っちゃダメよ。

俺はいま66歳だけど、人間ってのは還暦で干支をひとまわりしてまた赤ちゃんに戻るわけでしょ。だから俺はいま、自分の年齢は6歳だと思ってる。大人になったら何をやるうか、今から楽しみたいだね。